

令和5年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
1 芸術・文化のまちづくり事業							
1	麻生音楽祭開催事業	3,000,000	2,795,023	地域振興課	「芸術・文化のまち麻生」の一翼を担う事業として、麻生区を中心に音楽活動をしている音楽団体、小学校・中学校・高等学校などの音楽グループが、それぞれの自主性を尊重しつつ、相互の交流を図りながら互いに学び合うという精神を生かすとともに、日頃の活動の成果を披露するコンサートを開催することにより、広く区民のきずなを深め、区政の推進と芸術文化の向上を図ります。	・6月24日スクールコンサート、6月25日ポピュラーミュージックショー、7月1日かなでようあさおの響き、7月2日コースのつどい、7月8日アンサンブルのつどい、7月9日ファミリーコンサート 計6日間開催。 ・パナーフラッグ、柱巻き広告掲出やチラシ等の広報活動を行い、「音楽の街あさお」を多くの市民にPRしました。 ・コロナ禍以前と同様にファミリーコンサート以外の5つのコンサートを当日先着制に戻し開催しました。コロナ禍が完全に収束していない社会状況ですが、参加者数及び入場者数は回復基調にあり、前年度を大きく上回ることができました。	市民が参加し企画・運営を行う麻生音楽祭は、「芸術・文化のまちづくり」や「音楽の街あさお」を推進するために柱となっている事業です。今年度はコロナ禍以前に戻して初めての開催をすることができ、多くの市民の参加を得ることができました。次年度も引き続き、改善や工夫を図り、芸術・文化のまちのシンボル事業として継続していきます。
2	あさお観光資源の魅力紹介事業	1,376,000	1,362,370	地域振興課	観光ガイドブックの配布、観光写真コンクール及び禅寺丸柿のPRなどにより、区の魅力を発信し、区のイメージアップや地域の活性化を促進します。	・観光ガイドブックは麻生観光協会内に部会を立ち上げ、麻生観光協会と内容を協議しながら製作しました。市制100周年にちなんだ企画として、麻生観光協会と連携して麻生区観光写真コンクールの応募作品を掲載したカレンダーを製作(1,000部)し、転入者や来庁者に配布しました。 ・禅寺丸柿の啓発イベントとして、柿もぎ体験(定員30名、申し込み138名)、禅寺丸柿に関する小学生の作品展(新百合21ビル地下1階ロビー、麻生市民館ウオールギャラリー)、かきまるくんグッズの製作(ポケットティッシュ500個)を実施し、麻生区の地域資源の魅力を広く発信し、地域のイメージアップを図りました。	引き続き、禅寺丸柿をはじめとした貴重な地域資源を活用するとともに、新百合ヶ丘・黒川エリアをはじめとした豊富な観光資源をPRし、区のイメージアップや地域の活性化に資するため、継続して取り組んでいきます。
3	野外上映会開催事業	996,000	995,571	地域振興課	自然豊かで芸術・文化の香り漂い、故郷が感じられるまちづくりが望まれているなか、麻生区に定着している芸術・文化資源「野外上映会」を有効に活用して、「ふるさとあさお」、「芸術・文化のまち麻生」を提供します。さらには、夏の終わりに家族と過ごす思い出作りの場を提供します。	・8月26日、周辺町会や学校の理解・協力を得て王禅寺中央中学校で開催 ・上映前に、KAWASAKIしんゆり映画祭ジュニア制作ワークショップで制作した作品の上映等を実施	芸術・文化を通じた地域住民の交流や地域資源を活かした芸術・文化のまちづくりを区内全域に広げていくため、地域団体等とのさらなる連携や上映前イベントの充実、効果的な広報について検討します。
4	ふるさとあさお再発見事業	363,000	363,000	地域振興課	麻生区の豊かな自然の中で育まれた野菜・七草を用いて、「古風」のゆえんである焼いたお餅を加えたお粥を振る舞い、地域に伝わる伝統・伝承文化などを区民に広く紹介します。	区内で収穫した七草など地元産の食材を使い、区内で焼かれた炭を使った焼き餅を入れた七草粥1000食を提供した他、地域のお囃子保存会によるお囃子・獅子舞、童謡をうたう会の童謡、カルタとり、凧揚げなどのお正月遊び体験を実施し、参加者が「ふるさとあさお」を体感できる事業となりました。開催情報が各社新聞、地域情報紙に取り上げられ、区内外の多くの方が「ふるさとあさお」を知る・感じる機会となりました。	協働団体と連携し、事業に対するニーズに合わせて、より魅力ある事業となるよう適宜役割分担等を見直しながら、継続して取り組みます。
5	イメージアップ推進事業	3,155,000	3,003,100	企画課			
	懸垂幕作成業務			地域振興課	麻生区のイメージアップを図るため、スポーツ・文化活動などの全国大会出場等を応援する懸垂幕を区役所壁面に掲出するとともに、新百合ヶ丘駅南口バスターミナルに芸術・文化関連イベントの柱巻き広報物を設置することで広く地域住民にPRをします。	・「麻生音楽祭」(6月～7月)、「あさお芸術のまちコンサート 秋空のハーモニー」(8月～9月)の柱巻き広報物の掲示、「アルテリッカしんゆり」懸垂幕の掲出(4月～5月) ・2023全国U9・U12フロアボールフレンドシップ大会優勝祝懸垂幕の作製・掲出(8月～9月) ・第12回全国小学生&中学生ネオホッケー大会優勝祝懸垂幕の作製・掲出(9月～10月) ・全国ジュニアフロアボール大会2024優勝祝懸垂幕の作製・掲出(2月～3月) ・桐光学園高等学校サッカー部・男子バスケットボール部インターハイ出場祝懸垂幕の作製・掲出(6月～7月)、男子バスケットボール部全国大会出場祝撤布の作製・懸垂幕の掲出(11月～12月)	柱巻き広報物の広報効果は高く、次年度も継続して事業を実施しますが、新百合ヶ丘駅周辺のエリアマネジメントの動向も踏まえながら、並行してより効果的な広報手段の検討が必要であると考えられます。
	新百合ヶ丘駅周辺のイベント支援事業			企画課	「kirara@アートしんゆり」を区の共催事業とし、イベント開催に係る支援を行います。	令和5年11月18日から令和6年2月14日まで、令和6年の川崎市市制100周年を記念し、「KAWASAKI199」をテーマとした、イルミネーションイベントの実施を支援しました。	麻生区の主要な取組である「芸術・文化のまちづくりの推進」に向けて公民協働によるイベントを実施して地域を活性化し、区の魅力をPRすることが求められているため、見直しを行いながら本事業を継続して実施していきます。
6	あさお芸術のまちコンサート事業	2,705,000	2,685,654	地域振興課	区民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を設けることで、区のイメージアップを図るとともに、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりを促進します。	・9月3日、秋空のハーモニー(麻生市民館ホール) ・11月19日、ユニヴァーサル(新百合トウェンティワンホール) ・12月3日、劇団民藝コラボコンサート(「カフェ・グランデ あさお」内のステージプログラムとして実施) ・2月10日、区内ホールコンサート(はるひ野黒川地域交流センター)	地域の音楽家との連携・協力や、音楽を通じた他の芸術・文化団体との交流により、引き続き、芸術・文化のまちづくりを区全域に広げ、誰もが芸術・文化活動に親しむことができる環境づくりを進めます。
7	しんゆり・芸術のまち推進事業	5,585,000	5,584,800	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺に集積する芸術関係のさまざまな施設や人材などの地域資源を活かし、事業者、教育機関、市民、行政等の連携により、活力ある地域経済の創造、豊かな地域社会の実現と芸術を通じた幅広い効果を追求する「しんゆり・芸術のまちづくり」の取組を区全体に広げ、「芸術・文化のまち麻生」の確立を目指します。	・「あさお芸術・文化交流カフェ」(6月28日、2月27日)の開催、「カフェ・グランデ あさお」(12月3日)の開催 ・「しんゆり・芸術のまち」HPやSNSによる情報発信、HPの改良、他団体のイベントやメディアを活用した情報発信 ・アルテリッカしんゆりやしんゆりステーションピアノ、kirara@アートしんゆりに関する支援 ・新百合ヶ丘駅南口バスターミナルでの柱巻き広報物の掲示(アルテリッカ:4月～5月、しんゆり映画祭:10月～11月)	区内の芸術・文化資源を生かした地域活性化及び地域ブランド力の向上に向けて、引き続き効率的・効果的な運営体制及び実施手法の検討を進めます。

令和5年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
2 農と環境を活かしたまちづくり事業							
9	あさお花いっぱい推進事業	1,146,000	806,592	地域振興課	区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を目的とし、公共的空間にある花壇等を自主的かつ継続的に管理している団体に花苗等を提供して支援します。	ホームページ等で支援を必要とする美化活動団体を募りました。申請のあった20団体(内新規1団体)に花苗等を支援し、地域の環境美化向上及び地域コミュニティの推進につなげました。	地域に根差したコミュニティ活動の発展、地域の環境美化に対する意識の向上を達成するため、当事業による美化活動団体への支援は重要であり、社会情勢に応じ見直しを行いながら、今後も継続的に取り組んでいく必要があります。
10	麻生里地・里山保全推進事業	844,000	844,000	生涯学習支援課	麻生区及びその周辺の里地・里山などで活動している各団体や個人のネットワークを構築し、身近な自然環境に親しみ、里地里山の自然や歴史、文化を守り育てる市民ボランティアの育成を図ります。また、より多くの市民や関係機関の理解を得て、里地里山の保全に向けた取組を推進するとともに、自然と調和したまちづくりや地球温暖化の防止に配慮した行動を促す中で、広範な市民の環境保全、地球温暖化の防止に対する意識の向上を図ります。	里地・里山カフェ塾、あさお里山こどもクラブ、里地里山ナチュラリスト養成講座を継続実施しました。また、万福寺人参品評会及び里山フォーラムでは、区内の小学生や大学生の参加もあり、風景写真展の開催、里地・里山だよりの発行等により、自然とともにある貴重な文化の継承につながりました。	担い手の高齢化が進む一方で、コロナ禍を契機として、区民を中心に身近な里地・里山や自然に対する関心が大きくなっていると考えられます。今後、次世代の担い手獲得につながるような事業を実施していきます。
11	ヤマユリ植栽普及促進事業	250,000	250,000	地域振興課	区内で自然環境再生への問題意識が高まっている中、地域の環境美化及び地域コミュニティを推進するために、地域の公園緑地管理運営協議会等と連携しながら、消えつつあるヤマユリの植栽活動を支援するとともに、植栽ノウハウの蓄積・普及を促進します。	●地域の公園愛護会と連携したヤマユリ植栽地の観察・管理活動(6植栽地)と植栽支援(3か所) ●ヤマユリ開花展示会の開催(6月30日～7月5日) ●ヤマユリ植え替え講習会(11月24日) ●ヤマユリ育苗講習会については生育状況を鑑み令和6年3月から4月に開催時期を変更したことにより目標を下回りました。	区民の関心が引き続き高い区の花ヤマユリの植栽・普及活動は、団体との協働により今後も継続して実施していく必要がありますが、今後も新たな担い手の確保に向けて、作業内容の整理や、効果的な広報の実施等を検討していく必要があると考えられます。
12	麻生区SDGs推進事業	1,164,000	406,941	企画課	区民一人一人が取り組める身近なエコ活動の啓発等を通じ、区民や市民活動団体等との協働による「SDGsの目標達成」に向けた取組を推進します。	●自然エネルギーの活用促進や地球温暖化防止啓発として、8月11日に夏休み環境イベント、9月16日にイベント「おひさまと遊ぼう」、11月25日にあさお自然エネルギー学校、2月18日に「気候変動と日本」上映会、出前授業(3回)等を実施。 ●2月10日「SDGsマルシェinあさお」をかわさきSDGsパートナーと開催。	SDGsの目標達成のため、多様な主体と連携した取組を進める必要があることから、引き続き現状のまま継続することが適切であると考えます。
13	農と環境を活かした連携事業	3,432,000	3,410,000	企画課	区内大学や学校、農業振興地域の農業従事者、事業者等と連携しながら、区内にある農業資源(早野・黒川・岡上の農業振興地域、明治大学黒川農場)や緑地などの環境資源を活用した地域活性化や地域交流を促進します。	●関係者相互の理解促進及び調整の場の構築 ●黒川地域連携協議会、農産物等研究及び里地里山保全利活用専門部会への参加(各1回) ●地域連携を促進するための、各種イベントの実施 ●黒川地域連携イベントを通じた農と環境の魅力発信 ●地元野菜の収穫体験イベント等の開催 ●岡上地域での地域活性化推進の検討	令和4年度に事業の効率化から3つの専門部会を2部会体制に見直しました。区内に農業振興地域があり、農業資源に恵まれていることから、事業の目的や方向性を継続することが適切であると考えます。

3 すこやか・支え合いまちづくり事業

14	多様な主体との連携事業	2,365,000	2,362,989	地域ケア推進課	福祉関係団体、施設等の紹介・体験学習・発表の場として、あさお福祉まつりを開催します。また、地域で高齢者を見守る体制を構築し、安心して生活できる地域づくりを目指します。	●あさお福祉まつり 11月12日に開催し、63団体の参加と5,500人の来場者がありました。 ●福祉関係団体、ボランティアグループ等にとっては、貴重な交流の場となり、参加した多数の区民にとっては福祉に触れ関心を持つ場となりました。 ●高齢者見守りネットワーク ●令和5年度第1回安心見守りネット情報交換会を9月8日実施(出席者45名) ●3月1日車座集会の傍聴を第2回安心見守りネット情報交換会として案内	関係機関等と連携を行い、各事業一定程度の効果がありました。今後とも見直し・改善しながら継続することが適切であると考えられます。
15	地域包括ケアシステム推進事業	1,086,000	528,102	地域ケア推進課	地域包括ケアシステムの推進を目的として地域活動の活性化や多世代交流等を促進し、誰もが安心して暮らせる地域づくりを行います。	●ちいきのちからシートを2回実施 ●地区カルテの更新を実施 ●7月から8月の最大7日間で健康づくりボランティア・食生活改善推進員養成講座を開催 ●2月に地域で活動するボランティア対象にボランティアフォロー講座を開催 ●10月、11月、1月に高齢期・成長期の骨の健康、身体をつくる生活習慣をテーマに講演会を開催 ●地域包括ケアシステム講演会及び感染症講演会を実施 ●認知症について市政だよりの特集で広報を実施 ●地ケア川柳コンテストの開催	今後についても、事業ニーズがあるため、安全・安心のより効果的な確保に向けて、各時点での状況に即した方向性を模索・検討等しながら事業継続を行ってまいります。

令和5年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
<h3>4 安全・安心まちづくり事業</h3>							
16	麻生区安全・安心まちづくり事業	1,782,000	1,641,852	危機管理担当	・社会情勢に即応した課題を共通認識し、住民・地域団体・事業者・行政機関等の連携及び協働により、区民が安全かつ安心して暮らせるまちづくりを進めます。 ・死亡事故に直結することの多い自転車事故を回避するための判断力向上を目的に、事故の瞬間、現場を目で見て学ぶ「スクエアドストレート教育」を実施します。 ・依然多く発生している高齢者が関わる交通事故防止のため、民間自動車教習所で高齢者が安全な交通安全知識・技術を習得する「シルバードライビングスクール」を実施します。	・スポーツ防犯教室の実施(11月23日麻生スポーツセンター、12月9日柿生小学校) ・スクエアドストレート教育の実施(3月1日市立長沢中学校、3月5日私立桐光学園中学校、3月6日私立桐光学園高校) ・シルバードライビングスクールの実施(10月25日) ・麻生セーフティーメールの配信(52件) ・わんわんパトロール登録者数(165人)※10月から事業開始	今後についても、事業ニーズがあるため、安全・安心のより効果的な確保に向けて、各時点での状況に即した方向性を模索・検討等しながら事業継続を行っていきます。
17	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	663,000	660,000	地域振興課	区民から好評を得ている麻生区ガイドマップを、最新の情報に更新し、改訂版を発行します。配布方法は、転入者に配布することを中心に、区役所窓口に必要な方に配布します。転入者に知ってもらいたい、放置自転車等放置禁止区域、路上喫煙防止重点区域の掲載や、転入者が転入して不安のないよう、災害緊急時の井戸の所在地や避難所一覧などの防災情報も盛り込むなど、地図情報だけでなく、麻生区の各種情報を盛り込んだものとします。	・麻生区ガイドマップの改訂・発行(13,000部) ・麻生区ホームページ用の地図データ、新百合ヶ丘駅周辺図データの作成、公開	多様な転入者の様々なニーズに応えられるよう、マルチデバイス化や多言語化の推進を図りながら、今後も継続して事業を実施します。
18	麻生落書き消し事業	100,000	95,864	地域振興課	新百合ヶ丘駅周辺並びに百合ヶ丘駅及び柿生駅周辺等を中心とした落書き消しを実施し、駅周辺の美化と犯罪防止を目指します。また、町内会や地域の要請による「出前落書き消し」を実施し、落書き消しのノウハウを伝え、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進します。	10月11日、小田急線高架下(隊員による落書き消し) 11月11日、クリーンアップ大作戦に参加 12月9日、柿生駅～新百合ヶ丘駅周辺(一般参加者、企業等が参加した落書き消し) 3月9日、麻生川沿い壁面(隊員による落書き消し)	これまで継続して実施してきた落書き消しの活動により、事業開始当初より落書きは減少していますが、引き続き地域の美化・犯罪防止や地域コミュニティの活性化に向けて事業を継続する必要があります。今後も地域団体等と連携を深め、参加者を募りながら落書き消しの普及啓発活動を一層促進していきます。
19	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	349,000	52,800	危機管理担当	交通災害や犯罪に巻き込まれない事を目的に、平成23年度から小学校区ごとに交通・防犯上の危険箇所を把握し、マップを作製しています。事業を開始した平成23年度から3年ごとに改訂を行い、改訂年度は1年生から3年生まで、それ以外の年度は4月に入学する新1年生に必要な部数を増刷修正し配布しています。	令和5年度はマップ全面改訂の年のため、麻生区交通安全母の会と連携し、区内の危険箇所等を確認の上、小学校区ごとに作成しました。また、従来の紙版から電子版への切り替えを行い、各小学校に周知しました。	地域において交通事故は、依然として発生しており、今後も学校、PTA等の関係者と連携の上、マップのデジタル化により従来よりも情報量を増やし、危険箇所を把握しやすいかたちにし、安全・安心の確保ができるよう取り組んでまいります。
20	地域防災力の向上事業	3,311,000	2,992,018	危機管理担当	災害時の対応においては自助・共助の取組が重要であることから、効果的な啓発を通じて区民の防災意識の醸成を図るとともに、より実践的な内容を主眼とした区総合防災訓練の実施、避難所運営会議や自主防災組織に対する支援や、企業・関係団体等との連携を通じ、地域が一体となった災害対応の充実を図ります。併せて、区災害対策本部体制の強化に向けて、研修・訓練を通じ、職員の防災意識・スキルの向上を図ることで、地域防災力の向上を目指します。	・楽しみながら防災知識の習得と意識の醸成することを目的とした「区民防災塾」を2回企画(1回は台風のため中止)、自助の強化を図りました。 ・自助・共助の重要性を伝える防災啓発動画をYouTubeにアップし、区総合防災訓練やぼうさい出前講座で広報しました。 ・区本部運営訓練を図上、実働に分けて2回実施し、そこで明らかになった課題を再度各班が検討することにより、区本部体制の強化を図りました。 ・自主防災組織に対する訓練等への支援や避難所運営会議の運営支援を行い、地域防災力の向上に努めました。	自助、共助、公助それぞれの分野における取組は一定の成果を上げていると考えますが、限られた資源や人員を効果的に使えるよう、民間活用等も含めて検討し、より効果的かつ実践的な手法の検討・実施を進めていきます。

5 総合的な子ども・子育て支援事業

21	子育て支援・企画事業	2,989,000	2,178,494	地域ケア推進課	子育て支援情報の発信、子育てグループ等の支援、地域人材や企業を活用した子育て支援など区の状況に合った子ども・子育て支援を推進します。	・麻生区子ども関連ネットワーク会議の全体会(2回)、委員向け研修(2回)実施 ・子育て関連グループ交流会を麻生区社会福祉協議会子育て支援委員会と共催で実施(参加者10名) ・子育て人材バンク事業の実施(ボランティア派遣65件、86人) ・イオン連携事業 幼児作品展・食育展示を実施 ・あさお子育てフェスタの開催 区役所前広場・市民館での実施の他、市制100周年・緑化フェア担当と連携し「しんゆりフェスティバル・マルシェ」へのブース出展を実施(来場者2,000人) ・子育て情報誌「きゅっとハグあさお」(5,600部)、「ちびっこおでかけMAP」(11,000部)を発行 ・HP等にて、子育て関係施設の情報を発信(毎月更新)	地域ぐるみで子育ての支援が行えるよう、地域の実情に合わせて手法等の見直し、改善しながら事業を継続していきます。
22	こども関連大学連携事業	1,229,000	1,090,869	地域ケア推進課	「麻生区・大学 公学協働ネットワーク」を活用した大学との連携を通して、各種講座、体験学習や文化事業などの子ども・子育て支援を推進します。	●昭和音楽大学との連携事業(未就学児親子向けコンサート、小学生向けコンサート) ・吹奏楽団ファミリー定期演奏会実施 ・交流コンサート実施 ●和光大学との連携事業 ・ファミリー体験学習in鶴見川 ●田園調布学園大学との連携事業 ・キッズアート田園2回実施 ・けるける田園チャイルド2回実施 ●日本映画大学との連携事業 ・こども映画大学実施 ●玉川大学との連携事業(乳幼児保護者向け講座。小学生向け体験型講座) ・赤ちゃん学講座 全3回実施 ・親子で体験アドベンチャー 玉川大学TAPセンター実施	大学の方針等を考慮しながら、内容や手法の見直しを行いながら事業を継続していきます。
23	外国籍等こども学習支援事業	687,000	687,000	学校・地域連携担当	外国につながる児童・生徒の学習を地域で支援するため、区内の小・中学校において個別の学習支援や公共施設等を利用したの集団学習支援等を行います。	小学生16名、中学生4名について、学習支援を、それぞれの在籍している学校に出向いて実施しました。夏季休業期間を利用した学習会も4年ぶりに開催するなど、年間を通じ、各小・中学校と連携し、新しい生活様式に配慮しつつ、日本語を通じた学習理解への支援活動を実施しました。	外国につながる児童・生徒の割合は年々増加し、日本語理解を通じた学習支援へのニーズがさらに高まることを見込まれるため、新たな支援ボランティアの募集、育成や多言語への対応、新しい生活様式を踏まえた支援の方法・内容の検討等が課題となっています。

令和5年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
6 コミュニティづくり事業							
24	麻生区市民活動支援施設利用促進事業	2,180,000	1,439,215	地域振興課	麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」を麻生区における多目的な市民活動支援拠点として位置づけ、同施設の市民活動支援の推進を図ることを目的として実施します。	・市民活動団体交流イベント(活動団体発表会:2月11日)、人材育成講座(アクティブシニア講座:1月13日～2月10日全5回)等の実施 ・「やまゆりニュース(年3回)」及び「あさおふれんず(年3回)」の発行による市民活動の情報提供・発信 ・市民活動相談窓口の運営(週2回)、麻生市民館、社会福祉協議会との連携によりあさお福祉まつりにおいて合同の相談ブースを出展 ・新しいコミュニティづくりに資する市民活動への助成(4団体)	市民主体の中間支援組織が運営する「麻生市民交流館やまゆり」を通じた市民活動支援を継続していく必要があり、引き続き拠点施設として機能の活性化を図ります。さらにソーシャルデザインセンターとの役割分担や連携促進により、やまゆりの特性を生かした効果的な市民活動支援の強化を図ります。
25	町内会事業提案制度事業	613,000	489,350	地域振興課	地域の課題の解決に資するため、地域の担い手である町内会・自治会から事業提案を受け、審査を経て当該町内会・自治会と協定書を締結し、麻生区役所と協働して実施します。	「金程スマートタウンプロジェクト」事業(金程町会)、「音楽会実施」事業(新百合ヶ丘レガートプレイス自治会)、「はるひ野緑日(緑むすび日曜日)」事業(はるひ野町内会)、「おもちゃ病院実施」事業(百合ヶ丘動交会)、「麻団KIZUNAネットワーク」事業(麻生台団地自治会)が提案・実施され、地域の課題解決につながりました。	令和4年度から新規事業を認定せず、令和6年度末をもって事業を終了する予定です。
26	麻生区地域功労賞事業	35,000	25,560	地域振興課	地域活動への関心を高めることを目的として、地域活性化に貢献している個人または団体を麻生区長名で表彰します。	麻生区地域功労賞選考委員会の選考により、個人2名及び1団体が受賞しました。あさお区民まつりにおいて表彰式を行い、受賞者については町連だより、地元広報紙などで広報しました。	地域活性化に貢献した個人や団体を表彰し、住民の地域活動への関心と理解を深めることは、地域活動への参加を促進するために必要な事業であることから、幅広い分野から候補者が出るよう募集方法等検討、見直しを行った上で継続します。
27	麻生区市民活動支援施設活用事業	10,840,000	10,048,354	地域振興課	麻生市民交流館やまゆりについて、市民活動の拠点施設として、市民の主体的な運営参画を実現することにより、市民活動の一層の推進を図ります。	・市民活動の「場」の提供(会議室の平日昼間稼働率:84%)	麻生区の市民活動支援の拠点として、引き続き多くの市民活動団体に、「場」「資金」「情報」を提供し、地域人材の育成支援を行います。併せて、建物及び施設の老朽化に対して運営団体との連携により速やかに対応するとともに、修繕計画について検討していきます。また、ソーシャルデザインセンターとの有機的な連携により、効果的な市民活動支援を図ります。
28	麻生区多文化共生推進事業	340,000	147,170	生涯学習支援課	多文化共生を題材とし、麻生区在住の外国人市民との交流を通じて、多文化共生社会への理解を深める。次世代を担う子どもの参加できる事業や、多文化共生社会への関心が薄い市民に対しても興味を持てるような様々な事業を企画しながら、麻生区内において多文化共生社会の実現をめざします。	・9月16日子育てフェスタに「世界と遊ぼう!」を出店(321名参加) ・1月28日「世界とまちなあき」開催(日本人17名、外国人17名参加)	今年度の実施状況を振り返り、多文化共生に関心のある市民と対話しながら、多世代の外国人市民の参加などの課題についてより効果的な取組を行います。
29	区民祭開催経費	235,000	235,000	地域振興課	住みよいまちづくりを目指し麻生区民の連携を深めながら、毎年10月第2日曜日にあさお区民まつりを開催します。41団体により実行委員会が構成され、各町会・自治会や協賛企業の協力もあり、区民手作りのまつりとして地域に定着しています。	各会場で地域団体等のパレード、出店、野外・市民館・新百合トウェンティワンホールでの舞台出演や展示を屋内外で実施した。開催にあたり、昨年度に引き続き、しんゆりフェスティバル・マルシェとの同日開催、新百合トウェンティワンホールでの会場拡大、フードエリアでのキッチンカー出店、中学生・高校生を対象としたポスターデザインの募集などを実施することにより令和6年度の市制100周年記念事業の契機として実施することができ、当日は約7万人の来場がありました。	令和6年度は市制100周年記念事業と位置づけ、新百合トウェンティワンホールの活用、キッチンカー販売、ポスターデザイン募集など令和4年度から新たに実施した事業を継続するとともに、周年記念事業として、その他既存事業との同時開催や新規事業の実施等により魅力的なまつりの開催につなげていきます。
30	麻生区市民提案型協働事業	2,192,000	1,307,873	企画課	地域課題の発見と解決を図る新たな提案型事業を公募し、事業選定審査委員会の意見をもとに事業決定します。決定した事業は、市民活動団体等の提案団体と協働の理念にのっとり、事業の経費の一部を負担して実施します。	・各所管課と連携して適切な事業運営を行いました(協定、契約、予算執行、その他連絡調整など)。 ・今年度事業の中間報告及び3月15日に今年度実施事業の報告会を行いました。 ・提案事業の実施スケジュールや審査基準について、関係所管課・機関や審査委員とも協議の上、検討を行いました。 ・R6年度事業の公募・選定を実施しました。	提案事業が制度の枠組みから外れても団体が事業を自主財源で継続運営できるよう、団体の持続可能な運営への支援が引き続き必要であると考えられます。
31	町内会・自治会加入促進事業	732,000	699,538	地域振興課	麻生区町会連合会と協働し、町内会・自治会未加入者に対する町内会・自治会加入促進パンフレットを製作することにより、積極的に町内会・自治会への加入を促し、地域コミュニティの活性化を図ります。	R4年度作成の「町会・自治会ガイドブック」の内容を改定した上で発行し、麻生区転入者が区役所での転入手続きの際に受け取るウェルカムセットの一つとして配布し町内会・自治会への加入を呼びかけました。また希望のあった町会・自治会にガイドブックを配布し、加入促進ツールとして役立ててもらいました。	町内会・自治会への支援の観点からも、町内会・自治会の加入率を維持していくことは重要であり、掲載内容を適宜検討し、見直しを行った上で毎年継続して実施していきます。
32	スポーツのまち麻生推進事業	3,311,000	3,128,775	地域振興課	「川崎フロンターレ麻生グラウンド」を始めとした、区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業の実施や、区内のスポーツ関係団体で構成される「スポーツのまち麻生推進会議」の運営、さらに区民が自主的に行うスポーツ大会の支援、スポーツ・健康ロード等の地域資源を活用したスポーツのまちづくり事業、ユニバーサルスポーツ活動の支援事業などを通して、魅力あるスポーツのまちづくりを推進します。	・区内スポーツ資源(川崎フロンターレ、スポーツ・健康ロード等)を活用した事業の実施 ・スポーツのまち麻生推進会議の運営 ・スポーツ教室や啓発イベントの開催を通じた、区民の健康づくりや地域のコミュニティづくりの推進 ・あさおスポーツフェスティバルによる区内の各種スポーツ大会への運営費・賞状・盾の支給を中心とした支援 ・市民が自主的に行うユニバーサルスポーツ教室やイベント支援の一環としての用具貸出	かわさきパラムーブメント推進ビジョンに伴うパラムーブメントの全庁的な取組の推進及び第2期川崎市スポーツ推進計画を受けて、障害者と健常者が共に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催など、これまでの地域資源を活用した地域スポーツの推進、継続と、さらなる取組を推進する必要があります。

令和5年度 麻生区地域課題対応事業評価一覧表

No.	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業概要	実績	今後の方向性
-----	-----	----------	--------	-----	------	----	--------

7 地域課題対応事業その他事業

33	事務費等共通経費	1,357,000	1,196,315	企画課	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等の購入、郵便料、複写品意等を確保します。	地域課題対応事業の実施に必要な事務用品等を購入しました。また、郵便料、複写品費等を適正に執行しました。	需用費等について見直しを行いながら、引き続き計画的に執行していく必要があると考えられます。
----	----------	-----------	-----------	-----	--	---	---

8 区役所サービス向上事業

34	区役所窓口等サービス充実改善事業	1,778,000	1,504,964	区民課	区役所サービス向上指針に基づき、市民に便利で快適なサービスの効率的・効果的かつ総合的な提供を行い、市民の視点に立った区役所サービスの充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 混雑期に窓口案内等を設置し、適切な案内、誘導を行を行いました。 職員の接遇能力等の向上のため、接遇研修、多様な部下マネジメント研修、認知症サポーター養成講座を実施しました。 便利で快適な区役所サービスを提供するため、案内表示の改善を実施しました。また中庭の樹木の紹介する等中庭利用の促進を図りました。庁舎内緑化を行いました。 窓口や待合スペースにおいて、快適な利用に向け、利用者ニーズに合った改善を行いました。 オリジナル婚姻届は引き続き配布を行います。法改正に合わせ見直しを行います。さらに記念撮影コーナーをリニューアルしました。 	市民の視点に立ったサービス向上のため、社会環境の変化への柔軟な対応や、市民ニーズの把握を常に行い、見直し・改善の上、継続して取り組む必要があります。
35	区政・地域情報提供事業	434,000	330,000	企画課	区役所職員の広報・広聴業務に関するスキルアップを図り、区民にとってわかりやすく親しみやすい広報・広聴活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> X(旧Twitter)による情報発信を248件行いました。 広報研修としてナッジ活用研修を開催し、職員が制度等のお知らせやガイドブック、イベントのチラシ等を作成する際に、効果的に情報発信できるよう、スキルの向上を図りました。 	ホームページや様々な媒体における広報技術の向上等、次年度以降も関係課と連携して、広報広聴の充実を図って実施していきます。

9 区の新たな課題即応事業

36	区の新たな課題即応事業	5,000,000	2,460,813	企画課	年度途中に発生する新たな課題に、区長の権限で適切かつ迅速に対応するための事業を実施します。	タウンニュースへの区政情報掲載、長寿日本一啓発用消耗品の購入、新百合ヶ丘駅周辺案内サイン盤面更新、はるひ野駅前緑化推進、白山中学校跡地施設体育館電灯盤補修工事、わんわんパトロール貸与物品調達、麻生市民交流館やまゆり給湯設備修繕工事を実施しました。	引き続き、次年度も年度途中に区の新たな課題が発生した場合は、所管課や関係局と調整し、迅速な対応で事業を実施していきます。
----	-------------	-----------	-----------	-----	---	---	--